



## 世界を変えるあなたへ



### 『日本人襲われる!!』

～ 私の経験から、人種差別について伝えたいこと ～

その記事がアイルランドの新聞に掲載されたことを知ったのは、怪我をしてから2日後のことでした。怪我をしたその日以前も、日本人ということで、お店に入れてもらえなかったり、時には水をかけられたりする経験もありましたが、何とかやり過ごしていました。

しかし、その日だけは我慢ができませんでした。通りにあるアパートから、水ではなくグラスを投げつけられたからです。身の危険を感じたのですが、覚悟を決めて「人種差別をやめよう!!ここまで来て話し合う勇気はないのか?」とグラスを投げた人たちに言い放ちました。その言葉を引き金に、武器を持った大勢の人たちと対峙することになりました。

警官を呼んでくれた人がいたので、武器を持った人たちは逃げ、命は助かりましたが、九死に一生を得る怪我をしました。救急車で運ばれるほどの惨事で、肉体的にも精神的にもかなりどん底まで落ち込みました。(でも、安心してください。生きています。)

二日後の朝に目が覚めると、多くの友人がお見舞いに来てくれたことに気が付きました。その中には、イタリア人もフランス人も、そしてアイルランド人もいました。自分が通っていた学校でも話題になっていたようで、心配をして来てくれたようです。怪我や心の痛みが消えるくらい嬉しかったです。人種を超えた日になりました。



### みなさんに伝えたいこと

「差別をしない人になるために」



人種差別を受けた経験から、差別をなくす方法の1つは、“想像力”を高めることだと感じています。想像力がある人は、相手の気持ちを想い、行動することができます。そして、その想像力の土台となるものは、様々な経験と知識だと思います。様々な経験をすることで、視野が広がります。また、知識があれば、相手について考えることができます。

これからの未来を生きるみなさんにとって大切なことは、経験と知識に裏付けられた想像力です。中学生活の中でも、身につけることができるはずですよ。だから、私は心より待っています。

“差別のない世界を創るあなたを”

～ あなたは、ひっくり返すことができますか？ ～

差別はなくなるはずだ！！

わたしは、そんな言葉を信じない。

どうせ差別はなくなるらない。それは、ただの理想だ！！

それでも誰かが、無責任に言うだろう。



国境や人種も超えられるはず！！

経験と知識を最大限に活かして、その壁を取り除け！！

想像力があれば差別はなくなる！！

しかし、そんな考えは馬鹿げている。

無理をせずに声もあげずに、あきらめるのが賢明だ。

差別がなくなるらないことは、自分が一番知っている。



ただ私は途方に暮れるだけ・・・

《 さあ、勇気を出してひっくり返してみましよう 》

※一番下の文から、上に向かって読んでみよう(↑)

あなたなら、必ずできるはず!!

